

9月21日は敬老の日



9月になりました。朝夕は涼しくなって、だいぶ過ごしやすくなりましたね。
 さて、9月21日は敬老の日です。今年はシルバーウィークということもあって、普段は離れて暮らしていても、この日はおじいさん、おばあさんと過ごしたという人も多かったのではないのでしょうか。
 今回は敬老の日になんで、高齢者の方に関わる統計を集めてみました。

厚生労働省の発表によると、平成27年9月1日現在の100歳以上の高齢者の人口は6万1,568人となっています。人口10万人当たりの100歳以上の高齢者の人数を都道府県別にみると、最も多いのは島根県で90.67人、次いで高知県が85.37人、鹿児島県が80.40人となり、沖縄県は66.08人で15位となっています。
 また、80歳以上の高齢者の数を見ると、島根県が1万1,396.01人で最も多く、次いで高知県1万1,006.71人、秋田県1万952.38人となっており、沖縄県は5,724.38人で44位となっています。

100歳以上人口(人口10万人当たり)

順位	都道府県	高齢者数(人)
1	島根県	90.67
2	高知県	85.37
3	鹿児島県	80.40
⋮	⋮	
15	沖縄県	66.08

H27.9.1時点
 資料：厚生労働省

80歳以上人口(人口10万人当たり)

順位	都道府県	高齢者数(人)
1	島根県	11,396.01
2	高知県	11,006.71
3	秋田県	10,952.38
⋮	⋮	
44	沖縄県	5,724.38

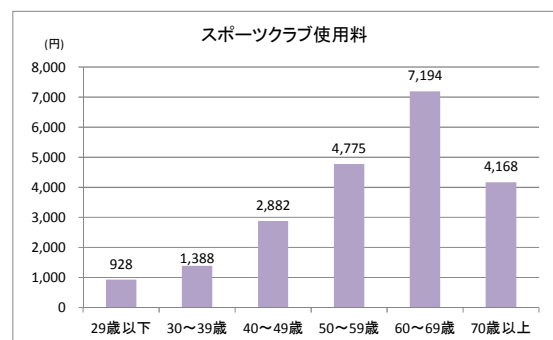
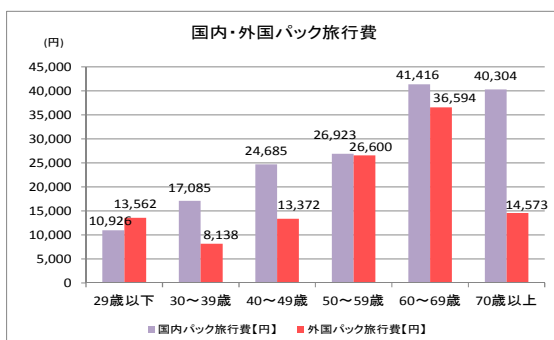
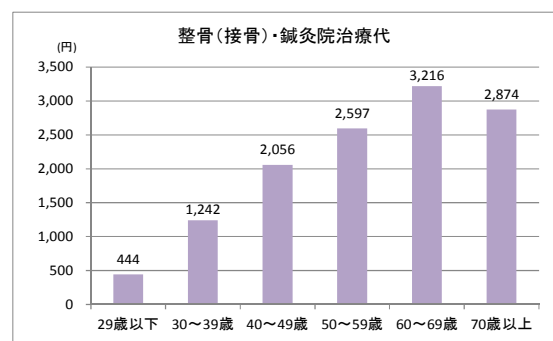
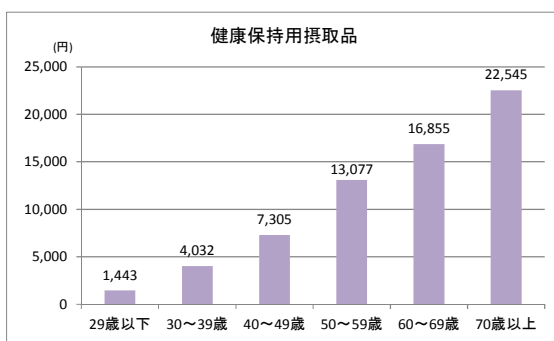
H25.10.1時点
 資料：県統計課
 「100の指標からみた沖縄県のすがた」

では、高齢者の方のくらしの様子をみてみましょう。
 総務省の家計調査をもとに、二人以上の世帯において年代別に支出金額をグラフにしてみました。
 国内・国外パック旅行費の支出金額は、国内・国外ともに60～69歳が最も多く、70歳以上の世帯でも国内パック旅行費は4万円を超えています。

また、サプリメント等の健康保持用摂取品では70歳以上、スポーツクラブ使用料と整骨(接骨)・鍼灸院治療代では60～69歳が最も多くなっています。

運動やサプリメント、時には鍼灸も取り入れ体調を整えつつ、旅行等の趣味を楽しむことが長寿の秘訣なのではないでしょうか。

年を重ねても、趣味や生きがいをもって、日々を健康に過ごしたいものですね。



資料：総務省「家計調査」

